

出雲崎町



11 No.582

令和7年11月7日発行

公民館だより月号

出雲崎町公民館

TEL 0258-78-2250

出雲崎町民体育館

TEL 0258-78-4700

生涯学習フェスティバルを開催しました

令和7年度 生涯学習フェスティバルを11月2日（日）と3日（月・祝）に開催しました。今年も、日頃の学びの成果を披露すべく各種団体等による「ステージ発表」や絵画や書道等の「作品展示」のほか、「健康づくり」「交通安全」といったブースが設けられ、盛りだくさんの内容で実施しました。期間中約800人が訪れ、大いに盛り上りました。



多くの作品が集まる～奥の細道天の河俳句大会～

10月25日（土）、中央公民館講堂において「第31回奥の細道天の河俳句大会」が開催されました。

今年は162名の方から753句の応募がありました。兼題の部では、『一歩ごと泥にぬかづく補植かな』という句を詠んだ櫻井詩子さん（魚沼市）が見事大会大賞に輝きました。

席題の部は出席者57名で、席題は「天高し」と「磯」の読み込みで行われました。

俳句三昧の一日を過ごした参加者は、大変満足された様子で帰宅の途につきました。



フラワーアレンジメント教室 随時募集中！！

【日時】11月15日（土）、12月20日（土）10時30分～12時00分

【会場】出雲崎町中央公民館 1階 視聴覚室

【内容】11月15日（土）「ウォームカラー」（生花） 12月20日（土）「舞雪」（生花）

【定員】10名（先着順） 【持ち物】はさみ、古新聞1日分、持ち帰り用の袋

【講師】長岡市 明田川 綾子 様

【申込】11月15日（土）の申込：11月12日（水）までにお申し込みください

12月20日（土）の申込：12月12日（金）までにお申し込みください

【参加費】1,500円（当日徴収します）連絡がなく欠席した場合は、材料を買い取りしていただきます。



良寛記念館だより



良寛記念館 開館 60 周年記念 後期特別展『加賀の千代尼・良寛と貞心尼師弟展』—三名の妙好人— 開催中
妙好人とは、仏の教えを喜び、その感動を人々に伝える人生を送った人の呼称です。加賀の千代尼・良寛と貞心尼の3名は、その感動を詩歌・俳諧に寄せて伝えた妙好人と云われています。総数 60 点以上の作品・資料をもとに3名の生涯をご紹介します。
千代尼の作品は、石川県白山市立千代女の里俳句館と千代尼ゆかりのお寺である白山市真宗大谷派聖興寺様よりお借りしました。いずれも、県外に貸し出されることは、初めてのこととなります。
この機会に是非、ご観覧ください。

妻入り会館だより



妻入り会館では、東京藝術大学院生の方々のスケッチ画の展示を行っています。(平成5年頃の作品 20点) ぜひお越しになってご覧ください。

【展示期間 11月30日(日)午前まで】

また、12月1日からは、引き札(コピー)と切り絵などの展示を行う予定です。皆様のお越しをお待ちしています。



妻入りの会

図書館だより

【中央公民館】

白魔の檻/東京創元社 … 山口 未桜 著

研修医の春田は、過疎地医療協力で派遣されると城崎と、北海道の山奥の病院に辿り着いた。ところが、病院一帯は濃霧に覆われて誰も出入りができなくなってしまう。そんな中、院内で病院スタッフが変死体となって発見され…。

【海岸公民館】

鎌倉茶藝館/光文社 … 伊吹 有喜 著

生きる気力をなくし、ふと訪れた鎌倉で暮らしが始めた美紀は、古い洋館の台湾茶カフェ「鎌倉茶藝館」で働き始める。そこには、新たな出会いやときめきがあった。そして…。『小説宝石』掲載を大幅に加筆修正。

今月の一旬

〈西乃越句会〉

稲藁の鋤き込み終り 稲消え

川 西 小股 正美知
ひつじ

※ 稲 (ひつじ) : 刈り取った後、切り株から再び萌え出した稲

天の川佐渡を向かひに眠る町

てまり団地 本間 加津

庭仕事いちぢくもいで小畠とす
井 鼻 細木 郵子
尼瀬 相澤 竹澤

〈越後出雲崎 楽会〉 頂きを超えて頂秋の雲

六年生 佐藤 姫帆
五年生 山田 凜
四年生 中村 千羽愛
三年生 いわし雲太陽めざしおよいでいる
二年生 さつまいも黄金みたいに輝いてる

〈小学生の俳句〉

体育祭みんな全力いい勝負

四年生 中村 千羽愛

いわし雲太陽めざしおよいでいる

五年生 山田 凜



「学校づくり」のこれからの課題

文部科学省 令和6年度学校基本調査によると、この10年間で、児童生徒数は約100万人減少し、小中学校の学校数は約2700校減少しています。全国的に少子化の中、全国各地で地域の核となる学校づくりの再編に携わり、文部科学省CO-SHAアドバイザーである長澤 悟（ながさわ さとる）さんに、「学校づくり」のこれからの課題についてお聞きしました。

学校づくりは「観」の上に立つ

学校づくりは、教育と施設、学校と地域、ソフトとハードをつなぐ作業であり、そのプロセスです。そのための学校づくりは、「観」の上に立つと言っていいです。

時代の状況も踏まえて、新しい子ども観、教育観、学校観をどう作り上げていくか。その上に学校の新しい役割とその姿が見えてきます。



長澤 悟さん

それが見えたところで、それを理念として言葉に示し、共通の目標として打ち立てていきます。多くの人が参加する学校づくりのプロセスでは、目指すものを共通理解する、共有することが大事です。特に、新しいことに取り組んでいこうとするときには、不安もあるし、当然反対意見もあるかも知れません。

けれども、そういう様々な考え方を受け入れながらも、議論を重ねていく中で「目指すものはこういうものだったはずだ」という、立ち戻ることができるような、一本の筋としての目標が必要です。それでは、どうやってその目標を立てができるかと言えば、とにかくみんなで夢や想いを語り合う、学校づくりの課題を理解する、固定観念に囚われないことにあると思います。そのためには、それを進めていく、取りまとめていくための役割を果たす人が必要です。

学校づくりはまちづくり

公立学校は、少子化による統廃合が進んでいます。地域社会にとってなくてはならない社会的共通資本として「学校をいかに地域に持続させられるか。また、学校教育の場としてだけでなく、地域づくりの核としてとらえ直すことができるか。」そのことが、今まさに問われています。

同時に、それは学校教育の可能性を広げることにもつながります。未来を生きる子どもたちの学びに向かう資質能力を育てる上で、知識や技能を実際に使ってみる機会を積極的に提供することが、地域社会には求められています。

これからの中学校づくりは、「みんなの学校」を目指す取組であると言えます。そこに毎日通う児童生徒のための学校であることは言うまでもありませんが、学校を地域のみんなで支え、地域のみんなが育つ共創の場と言えるものにするために、子どもから大人まで、住民、教職員、支援者と行政と議会が一体となり、多くの人が参画して理念・目標を共有していくことが求められています。

*長澤 悟さんのプロフィール

所属：東洋大学名誉教授、教育環境研究所所長、国立教育政策研究所客員研究員

略歴：東京大学工学部建築学科卒業、同博士課程修了（工学博士）、（社）文教施設協会理事

町 体 だ よ り

お申し込み・お問い合わせ

出雲崎町民体育館

TEL 0258-78-4700

町民卓球大会の参加チーム募集中！

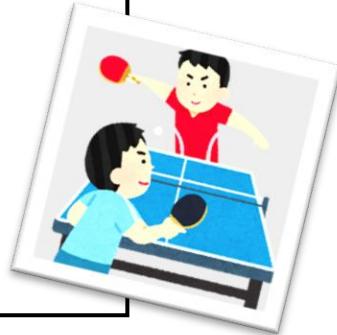
日 時：12月7日(日) 9:00～(受付：8:30～)

場 所：町民体育館

チーム：ダブルス3組による団体戦 登録は1チーム6人以上

申込期日：11月4日(火)～11月30日(日)まで

★参加希望の方は、町民体育館へ申し込んでください。
(要項・申込書は、窓口で配付しています。)



町内杯ゲートボール大会

10月7日(火)、屋内ゲートボール場にて、町内杯争奪ゲートボール大会が行われました。5チームによる総当たり戦で、手に汗にぎる試合展開でした。

大会結果は以下の通りです。皆さん、お疲れさまでした。

★優 勝 西越 ★準優勝 小木ノ城A ★3 位 五ヶ字



優勝チーム
西越の皆さん

いずもざきマラソン RUN、RUN、RUN!!

10月26日(日)に行われた『いずもざきマラソン'25』の大会結果をご案内します。

※詳しい結果は『いずもざきマラソンホームページ』に掲載してあります。

<https://www.s-nets.info/izumozaki-marathon/wp/>

★ロング(15.5km)男子

- 1位 高井竜太(新潟市)
- 2位 高橋正弘(関川村)
- 3位 高橋和彦(出雲崎町)

★ロング(15.5km)女子

- 1位 大野彩佳(長岡市)
- 2位 金原史子(魚沼市)
- 3位 石栗志延(新発田市)

★ショート(7.9km)男子

- 1位 西村 鴻(燕市)
- 2位 渡辺 隆(関川村)
- 3位 伊藤圭佑(関川村)

★ショート(7.9km)女子

- 1位 柳澤裕子(上越市)
- 2位 野口明子(長岡市)
- 3位 高野由布(村上市)

★小学生(3.0km)高学年

- 1位 瀧口凌央(山形県)
- 2位 内山裕夢(上越市)
- 3位 野澤宥人(新潟市)

★小学生(3.0km)低学年

- 1位 瀧澤由雅(新潟市)
- 2位 小柳凜空(長岡市)
- 3位 富所司佐(長岡市)

